

夏に使える漢方処方

Case 1

夏が近づくと、こういうお話をいただいて講演会をやることが多いです。
例えば、熱中症に使える薬はあるんですか？
西洋医学的には、脱水用の点滴などがありますが、熱中症で頭が痛い、重たい、気持ち悪い、はなかなかなか治りません。
補液して、鎮痛剤を処方されて帰ってくださいと言われる。
「え？こんなに頭が痛いののに、重いのに、帰って言うの？」
顔がほてるなら、白虎加人参湯(びゃっこかにんじんとう)、頭が痛い、重たい、気持ち悪いなら、五苓散(ごれいさん)です。
点滴後は、補中益気湯(ほちゅうえつきとう)で元気を出してもらい、食べてもらいます。
五苓散だけでも、冷たい水でガンガン飲んでください。
「あ、治った！」という瞬間を経験することができます。



Case 2

虫刺され、すり傷、乾燥性湿疹、アトピー性皮膚炎など皮膚にトラブルが起こり、それを引っ掻くと、皮膚に大人しくしていたブドウ球菌や連鎖球菌が悪さを始めます。化膿してきます。
これを伝染性膿痂疹と言います。
別名「とびひ」です。
火の粉が次々と飛び移っていくように、細菌感染症が拡大することを指しています。
軽症は外用剤で治りますが、中等症以上は、抗生剤の内服を併用することもあります。
こんな状況に、十味敗毒湯(じゅうみはいどくとう)を使います。
いかにも「抗生剤使いたいな」と思う場面を使うと、皮膚が早くキレイに治っていきます。
急に起こった皮膚の炎症にも使われます。
まずは1週間試してみましょう。
変化がなければ、作戦変更を考えます。



Case 3

蚊に刺されたら、毎回赤く、大きく腫れる人いませんか？
これは蚊に刺されたときだけ皮膚が過敏に反応する現象です。
かゆいので手で引っ掻いてしまうと、さらにかゆみも増し、腫れ上がってきます。
こういうときは、刺されてもなるべく掻かないようにして患部を冷やす、ステロイド軟膏を塗ります。
さらに、越婢加朮湯(えびかじゅつとう)を1包飲みます(お子さんは半量なりに減らしてください)。半日もすれば、発赤・腫脹が引いていきます。
1回くらいは、全く消えるのを経験します。
これを早めにやっておくと、1週間腫れたままとか、跡が黒っぽく残るとか、水疱が消えないとか、の悩みが解消できます。
1日飲む、うまくいけば1回飲むだけです。
速効性があります。



Case 4

清暑益気湯(せいしょえつきとう)を御紹介します。
暑気あたり、暑さによる食欲不振、下痢、全身倦怠、夏やせが適応です。
これだけで、「おー、俺使えそう」と声が出た人もいますよね。
エネルギー不足で、疲労感、無力感、息切れ、食欲減退が起こります。
口喝、ノドの渇き、尿量減少は水分不足ですが、これを呈する人がいます。
発熱、腹痛、下痢などの熱に関する症状もあります。
これらの条件がそろった方には、よく効きますよと。
日頃は、補中益気湯(ほちゅうえつきとう)を飲んでいますが、夏だけ期間限定で清暑益気湯を飲む方がおられます。
汗びしょりかいていたのが減る、汗がサラサラになる、真夏でも食欲が落ちないと言われます。
炎天下でサッカー、野球、ラグビー、をやる、体育館内でバスケット、バレーボール、バドミントンをやっている学生さんも多く試しています。
「ラグビーで真夏の合宿をやっても、倒れなかった」と言っています。
真夏にしか飲んでいけないわけでもなく、年間を通じて内服されても構いません。



Case 5

熱中症になったらどうしましょう？
医療機関を受診すれば良いのですが。
脱水があれば点滴をしてくれます。
点滴をしてもカラダがだるい、頭が痛い、重い感じが残ります。
先生は、「帰っていいですよ」と言われますが、ちょっとしんどい。
こういうときは五苓散(ごれいさん)です。
熱中症のときは、頭の中はむくんでいます(脳浮腫)。
カラダ全体では脱水ですが、頭の中は水がいっぱい溜まっている状態です。
これをどう治しましょう？
部分的な水だけを動かして、水はけを良くしたいわけです。
五苓散を飲むと、カラダに必要な水分は保持しながら不要な水を排出してくれます。
頭がスッキリします。
水分バランスが良くなっても全身倦怠感があれば、補中益気湯(ほちゅうえつきとう)を続けて飲みましょう。
だるさが取れて、食事が摂れるようになります。
夏場の間、ずっと補中益気湯を1日2回か3回飲み続ける方も結構おられます。



小児夜間急病センター当番日

7月7日(土) 19:30-22:30(受付) 場所: 岐阜市民病院

岐阜市の漢方外来 7月7日(土)、21日(土) 14:00-17:30

場所: 中島小児科(岐阜市鍵屋東町2-1) 院外処方箋となります。

休診日 7月25日(水) 都合により休診いたします。よろしくお願いいたします。